

●●●●●● 令和3年度 県の主な事業 ●●●●●●

事業名及び担当課	事業の概要
いばらきサイエンスキッズ育成事業 (R3～) 義務教育課	将来の科学技術を担う「人財」を育成するため、教員の指導力を高め、理科授業の質を向上させるとともに、探究的な活動を充実させることにより、児童生徒の科学への興味・関心を高め、理科の学力向上を図る。 ○小学校における理科専科教員による授業公開 ○効果的な指導法プレゼンテーション大会 ○科学研究作品展の開催 ○科学の甲子園ジュニア県大会の開催
小中学校における遠隔教育実証研究事業 (R2～) 義務教育課	すべての児童生徒に対して質の高い教育を実現し、学力向上を図るために、高度な専門性や優れた指導力をもつ人材を活用した遠隔教育の在り方について研究し、その成果を図る。 ○エリア型遠隔授業 エリア（市町村）内の小学校1校及び中学校1校を配信校として、同校種の複数の学校と遠隔システムで接続し、優れた指導力をもつ教員による遠隔授業を実施 ○ピンポイント型遠隔授業 1つの学校又は施設を配信校（配信地）として、学校1校と遠隔システムで接続し、高度な専門性をもつ人材による遠隔授業を実施
学力向上推進プロジェクト事業 (H20～) 義務教育課	児童生徒が自ら課題を発見・解決できる、高い学力を育成するため、各種学力調査等の分析結果をもとに授業改善を図るとともに、外部の教育的資源などを活用した質の高い教育を推進する。 ○学習状況の把握と改善 ○児童生徒一人一人に応じた学習指導の充実 ○質の高い教育を提供するための外部人材等の活用 ○読書活動の推進（みんなにすすめたい一冊の本） 対象：小学校4～6年生全員、中学校1～3年生全員
少人数教育充実プラン推進事業 (H22～) 義務教育課	○楽しく学ぶ学級づくり事業 小学校2～6年生で35人超学級が3学級以上（小学校2年生は全学級）の場合の担任教諭配 小学校3～6年生で35人超学級が1、2学級の場合の非常勤講師配置 ○中学校生活実質支援事業 中学校1～3年で35人超学級が3学級以上の場合の担任教諭及び非常勤講師配置 中学校1～3年で35人超学級が1、2学級の場合の非常勤講師配置
中学生の英語発信力向上事業 (R2～) 義務教育課	中学校の授業を改善し、生徒の英語4技能を総合的に育成することで、生徒が英語で発信する力を強化し、グローバル人材の育成を図る。 ○英語4技能アセスメントテスト（「児童生徒の英語力向上」と連携した英語4技能アセスメントテストの実施） ○授業改善にむけた訪問指導 ○児童生徒の英語力向上事業・小学校英語トライアル（小6）、英検I（中1～中3）の実施 ※高校は希望
英語コミュニケーション能力育成事業 (R2～) 義務教育課	グローバルな視野をもち、他者と協働しながら課題を解決し、自分の意見を英語で発信することができる人財の育成を図る。 ○英語プレゼンテーションフォーラムの実施 （グループによるプレゼンテーション（発表）から生徒同士によるシェアリング（やり取り）を行うフォーラム） ○高円宮杯中学校英語弁論大会茨城県大会
次世代グローバルリーダー育成事業 (H30～) 義務教育課	英語の学習意欲・能力の高い中高生を対象に、海外の人々とコミュニケーションをとりながら課題を解決していくための思考力やリーダーシップなどの育成をねらいとし、オンライン英会話学習、集合研修会、海外大学留学生との交流プログラム等を提供する。
グローバルサポート事業 (H31～) 義務教育課	多国語化・多言語化における共生社会を形成し、本県と母国の架け橋となるグローバル人材を育成するため、NPOを核として、市町村及び関係機関や外部専門機関との連携強化を図るとともに、日本語初期指導と支援体制の充実を図る。 ○日本語初期指導の充実に関する事業 ○キャリア教育の充実に関する事業 ○日本語指導担当者への研修動画の提供 ○支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催 ○筑波大と連携したオンライン実証研究
道徳教育推進事業 (H28～) 義務教育課	「特別の教科 道徳」において、道徳教育推進教師が中心となり、多様で効果的な指導方法や評価の在り方に関する研修等を通して、教員の指導力向上を図る。 ○道徳教育パワーアップ研究協議会の実施 ○道徳教育推進教師による「道徳教育事例集」の作成等
未来の科学者育成プロジェクト事業 (H20～) 高校教育課	最先端科学技術の現場にふれさせる活動等を通して、将来科学者・研究者になろうとする人財の育成を図る。 ○スーパーサイエンスハイスクール ○高校生科学体験教室 ○茨城県高校生科学研究発表会 ○科学の甲子園茨城大会 ○科学系コンテスト参加者強化トレーニング
生徒指導実践サポート事業 (H15～) 高校教育課	生徒のいじめや問題行動等が大きな社会問題となっていることから、学校サポートチームの派遣、生徒指導教員の加配、高等学校生徒指導相談員の配置を行うことで、生徒指導体制の改善充実を図り、いじめや問題行動等の未然防止及び早期解決に資する。
いばらき版高等学校「道徳」教育推進事業 (H22～) 高校教育課	豊かな心育成コーディネーター等研究協議会の開催、実践セミナー、「道徳教育推進委員会」の開催、「道徳」公開授業の促進、「道徳」の授業におけるグスタビーターの活用推進などにより、学校の指導体制と教員研修を充実させ、「道徳」や「道徳プラス」の授業の円滑な実施を図る。
国際社会で活躍できる人材育成事業 (H23～) 高校教育課	学習指導要領に対応した外国語教育の指導体制を充実・発展させることにより、急速に進展するグローバル化に適応し、国際社会で活躍できる人財の育成を図る。 ○ディベート・チャレンジ ○留学・国際交流促進事業 ○茨城県高校生国連大学グローバルセミナー ○English Summer Camp
いばらき海外留学支援事業 (H27～) 高校教育課	海外への留学を支援することによって、全県的に海外留学の気運を高め、グローバル社会で活躍する人材の育成を図る。
いばらき高等学校学力向上推進総合事業 (H28～) 高校教育課	生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するため、教員の学力観の転換を図るとともに、各学校において主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。
県立学校情報セキュリティ強化事業 (H29～) 高校教育課	一人一人の教職員の情報セキュリティ意識を高揚させるとともに、生徒の個人情報等を安心・安全に扱うことができるICT環境を構築することにより、「教育の質的改善」及び「教員の業務負担の軽減」を図る。
プログラミング・エキスパート育成事業 (H30～) 高校教育課	インターネットを活用して全国トップレベルのプログラミング能力を有する中学生・高校生を育成するとともに、多くの生徒がプログラミングに興味を持つような学習サービスを提供する。
特別支援教育充実事業 (H28～) 特別支援教育課	特別支援学校の巡回相談員が、小中学校等の要請に応じて障害のある児童生徒等の指導内容や方法について相談に応じるとともに、必要に応じて専門家も派遣して、より専門的な助言等により特別支援教育の充実を図る。 発達障害等を含めた障害のある児童生徒等の教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行うため、管理職等に対して職務に応じた研修を実施する。
交流及び共同学習推進事業 (H元～) 特別支援教育課	幼稚園、小中学校、高等学校等と特別支援学校の幼児児童生徒とが地域の一員として継続的な交流を行う中で、互いの理解を深める。また、障害のある児童生徒に対する地域社会の人々の理解と認識を深める。
特別支援学校就労支援充実事業 (H30～) 特別支援教育課	就労支援コーディネーターを配置し、特別支援学校と地域の経済団体や企業との連携による就労支援体制の充実を図るとともに、特別支援学校間の連携を強化し、障害のある生徒の特性や希望に応じた自立と社会参加を推進する。
特別支援学校教育情報化推進事業 (H31～) 特別支援教育課	県立特別支援学校のICT環境を整備し、児童生徒の障害の状態や特性等に応じたICTの活用を推進するとともに、教員のICT活用指導力の向上を図る。
子どもの体力向上支援事業 (H26～) 保健体育課	学校教育活動における体育・スポーツ活動の充実を図り、児童生徒の運動意欲を高め、競い合う楽しさや達成感を味わわせ、「たくましい心と体」を育成する。 ○体力アップ推進プラン ○体育授業サポーター派遣事業 ○体育授業アドバイザー派遣事業 ○スポーツチャレンジ
児童生徒の食育推進事業 (H18～) 保健体育課	生涯の健康の基礎を培う学齢期に、食に関する正しい知識を習得させ、望ましい食生活へ改善していく力を身に付けさせるよう、学校における「食に関する指導」の充実を図るとともに児童生徒の地場産物や農業等への理解を促進するなど、食育の一層の推進を図る。 ○料理コンテストの開催 ○栄養教諭派遣事業 等
「生きる力」をはぐくむ健康教育推進事業 (H18～) 保健体育課	児童生徒の健康問題に対応するため、早い時期からの保健教育の実施とヘルスプロモーションの考え方を生かした健康教育の推進が必要であり、そのため指導者研修会等を実施し、教員の資質向上を図ることにより、児童生徒の生きる力の形成を目指す。 ○学校保健指導者研修会の開催 ○喫煙・飲酒、薬物乱用防止教室の実施 ○性に関する講演会等の開催
オリンピック・パラリンピック教育推進事業 (H28～) 保健体育課	本県のオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、児童・生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。 ○オリパラ教育地域セミナー・ワークショップ
緊急情報メール配信システム運用事業 (H23～) 保健体育課	緊急かつ重大な事件・事故が発生した場合に、保護者等に対して正確な情報を速やかに伝えるメール配信システムを整備し、学校安全対策の一層の向上を図る。
学校安全総合支援事業 (H24～) 保健体育課	学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を図るため、学校安全の組織的取組と外部専門家の活用を進めるとともに、学校間の連携を促進する取組を支援する。 ○学校防災に関する事業 ○交通安全に関する事業
学校安全教室推進事業 (H15～) 保健体育課	各学校において、防犯・防災に関する講話及び訓練等を踏まえた安全教室の開催を推進するため、指導者に対する講習会を実施し、安全教育の充実を図る。 ○安全教育指導者研修会 ○防犯教室指導者講習会 ○心肺蘇生法実技講習会
がん教育総合支援事業 (H26～) 保健体育課	茨城県総合がん対策推進計画に基づき、教育現場において、児童生徒の発達段階に応じた「がん教育」を実施し、がんに関する正しい知識やがん患者に対する正しい認識を深め、健康や命の大切さを再認識することにより、児童生徒の将来的ながん検診の受診行動を促すとともに、自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。 ○がん教育推進協議会の開催 ○がん教育講演会等の開催 ○がん教育指導者研修会の開催 ○学校での取組に対する支援及び普及啓発
世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業 (R2～) 保健体育課	全国、世界で活躍するトップアスリートを輩出するため、ジュニアアスリートの発掘・育成を中心とした競技力の向上を図る。 ○トップアスリート育成モデル事業 ○ジュニアアスリート発掘・育成事業 ○指導者の確保・活用事業
小学校口腔衛生推進事業 (R3～) 保健体育課	学齢期から口腔の健康を維持することを目的に、小学校でのフッ化物洗口を推進するためモデル校において取り組む。